

ショウブ科 ショウブ属

ショウブ (菖蒲)

Acorus calamus L.

自生環境

水路、湿地 など

原産地

日本在来

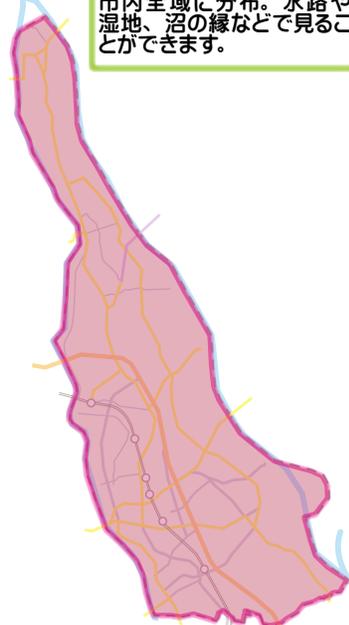
生育を脅かす要因



市内全域の水辺に見られますが、どこにでもと言えるほどではありません。河川改修や湿地の埋め立て、外来種の繁茂などは、生育を脅かす重大な要因となります。

市内の分布状況

市内全域に分布。水路や湿地、沼の縁などで見ることができます。



特徴

- ☆ 池のまわりや水路の中など、比較的水深の浅い場所に生える多年草です。地中に太い地下茎があり、これを横にのぼしながら広がっていきます。葉のかたちがマコモなどに似ていますが、葉色は濃く、ちぎるとさわやかな香りがします。
- ☆ 初夏に花の穂を出します。穂のつく位置が低いため、葉をかきわけるようにして株もとを確認し、ようやく分かるという感じです。穂は長さ4~8 cm 程度、表面にとても小さな花がびっしりとついています。葉の途中から穂が出ているように見えますが、そう見えるだけで、穂より下が花茎、上が苞に相当します。
- ☆ 穂は花が咲き終わった後もしばらく残り、茶色い残骸のようになります。果実っぽいものが膨らむことがありますが、結実率がかなり低く、タネはほとんどできません。

お風呂に入れるのは

5月5日の子どもの日には、ショウブの葉をお風呂に入れて、ショウブ湯にする習慣があります。さわやかな香りがするショウブの葉は疲れを癒し、邪気を払うと言われていました。ところで、ショウブ湯に入れるショウブは、アヤメ科のハナショウブではなく、サトイモ科の本種です。ハナショウブの葉は有毒で、人によっては皮膚炎を起こす可能性があるため、間違えないようにしたいところです。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

